

放火の危険はすぐそこに！

全国の火災原因ワースト1位！

「放火火災」、その動機の多くは、「むしゃくしゃしてやった。燃やせるものは何でもよかった」など、身勝手に無差別なものです。ひとたび火災になり拡大した場合は、大切な生命や財産をも奪うだけに、絶対に許すことはできません。

しかし、何も手立てがないわけではありません。

私たちの身の回りに注意を払い、対策を行うことで、放火の危険性を低くすることはできます。

久留米広域消防本部では、平成21年以降、平成25年を除いて「放火（疑いを含む）」が出火原因のワースト1位です。

要注意



放火されにくい環境づくりが大切！

放火による火災の多くは、建物やその周辺のものに放火されており、夜間から明け方にかけて、人目につかない時間帯や場所で多く発生しています。たまたま燃えやすいものが置かれていたことで火をつけられたケースもあります。



放火対策は自分たちの家の周りはもちろんのこと、地域ぐるみで声を掛け合うなど、「放火されにくい環境」を作ることによって、放火される危険を減らすことができます。

建物の周りや人目につきにくい場所に燃えやすい物を置かない。

家の周りやビルの通路等に置かれた可燃物は、放火のターゲットになる危険があります。整理整頓して、置かないように注意しましょう！



建物周りや道路を明るくする！

暗い場所は放火されやすい条件の一つです。

放火の危険性を低くするために、外灯やセンサーライトなどで建物周囲や道路を明るくすることも大切です。

ごみは収集日の朝に出す！

収集日前日に出されたゴミは、放火の格好の標的となります。必ず収集日の朝に出すことを徹底しましょう！



物置・車庫は必ず施錠する！ バイクカバーは防災加工品を！

物置・車庫内に侵入して放火されないように、必ず鍵をかけましょう。

バイクカバーを使用する場合は、防災加工品にすることで、燃えにくくなり、被害を抑えることができます。



ほかにも・・・

- ・アパート等の共同住宅の郵便受けは、こまめに整理する。（空室は特に注意）
- ・店舗内やテナントビルの共用部分で死角となる場所には、監視カメラを設置したり、巡回監視を行う。



放火を絶対に許さない！！



久留米広域消防本部
KURUME KOUIKI FIRE DEPARTMENT